

分科会意見交換会におけるテーマについて
第一分科会（総務委員会）

テーマ	市民が誇りを持てる「環境モデル都市」「環境文化都市」の実現に向けて ～まずは、身近な環境問題について考えてみましょう～
テーマに係る 課題（背景）	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体の総ての政策施策は、つまるところ「人口減少」をいかに食い止めるか、という課題に収斂してきて、飯田市においても「いいだ未来デザイン2028」は、12の基本目標が総て、直接間接的に「人口減少対策」に結びついています。「人口減少対策」の柱は「移住定住促進」と「交流人口の増加」であり「移住定住促進」には、働く場所の確保（産業振興）を前提に、幾つかの分野における自治体のもつ強みを磨き上げ、特化させ、それをブランドとして発信していく必要があります。同時に、そのブランドを住民がしっかりと認識し、誇りとしなければならず、市民の誇り（シビックプライド）の醸成は必須の課題といえます。 ・この考え方からして、総務委員会所管の分野において、飯田市の強みであって「移住定住促進」に寄与する政策としては、他に先駆けて環境問題に取り組んで「環境モデル都市」の指定を受け「環境文化都市宣言」を議決していることから、【環境政策】はその候補になり得るものと考えます。しかし「環境モデル都市」については、全国で23の自治体のみが選ばれ、県内でも唯一指定を受けている飯田市でありながら、現状は市民の誇りまでには至っておらず、また「環境文化都市宣言」に添った施策展開が十分になされているかが見えていない状況と言えます。 ・この「環境モデル都市」と「環境文化都市宣言」を生かし、その姿を明確にしてその実現に向けた政策提言を行うと共に、飯田市の環境政策が市民の誇り（シビックプライド）へとつながる道を、当委員会の研究テーマの一つとして取り上げたいと考えます。 ・今回の議会報告会においては、参加者の皆様に「環境モデル都市」の概要と「環境文化都市宣言」についての理解を深めていただくと同時に、シビックプライドの醸成には広く市民の皆様方の日常での取り組みが欠かせないものと考え、それぞれの地区において日常生活で感じておられる環境問題についてご意見をお出しいただき、シビックプライド醸成への第一歩としたいと思います。
意見交換会で 話し合いたい点	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは「環境モデル都市」の取り組みの概要と「環境文化都市宣言」の内容、議決に至った経緯などをご説明し、この点についてのご質問、ご意見をお出しいただきたいと思えます。 ・飯田市には「ポイ捨て等防止条例（略称）」がありますが、この条例の浸透度合いや成果などをお聞きしたいと思えます。 ・その上で、各地区において日常生活において感じておられる環境問題について、意見交換をさせていただきたいと思えます。